

# INVESTORS GUIDE 2023

KUNIMINE INDUSTRIES CO., LTD.



資源を科学して未来のニーズを創造、  
産業の発展、社会インフラ整備に貢献

クニミネ工業株式会社は、2023年6月に創立80周年を迎えることができました。これもひとえに、株主様、お取引先様をはじめとした多くのステークホルダーの皆様のおかげであり、この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。

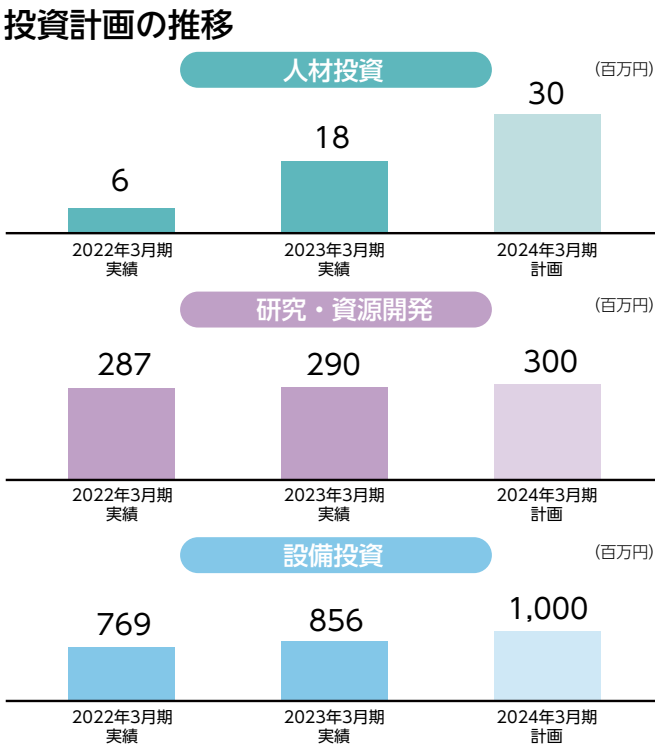
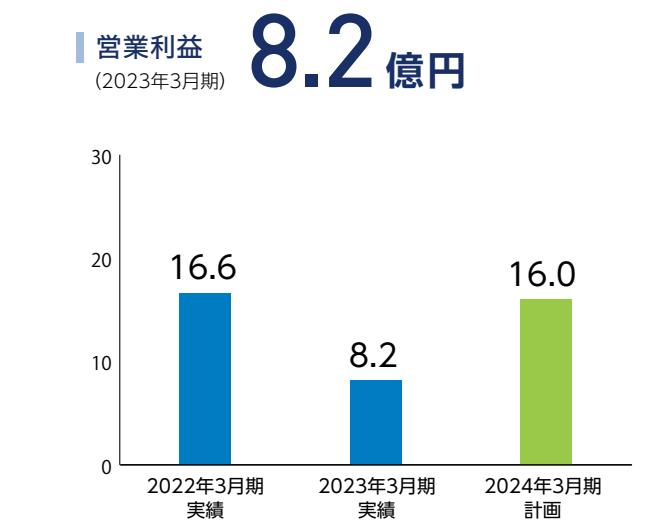
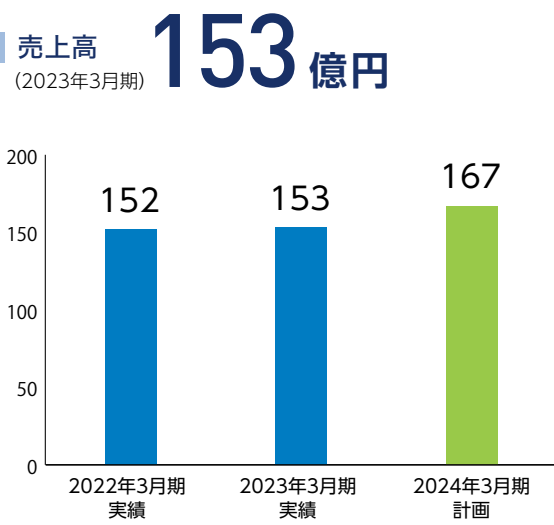
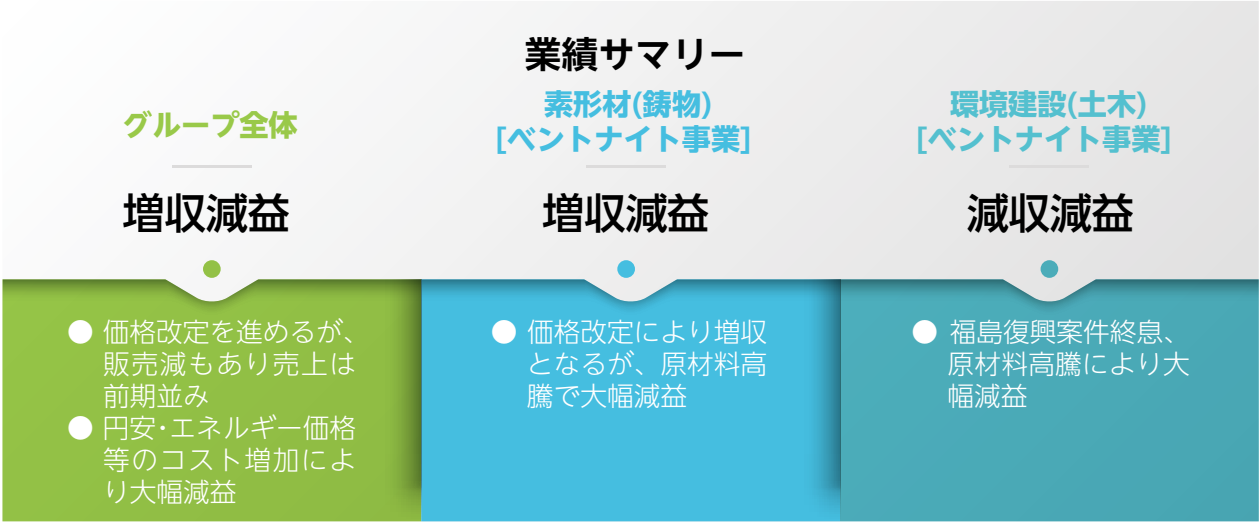
当社は「経世済民」の企業理念のもと、80年という長い年月にわたり、地下資源であるベントナイトを軸に様々な分野において事業展開し、業界のリーディングカンパニーに成長してまいりました。

現在は次の世代に向け、主に産学官連携により様々な新規用途開発に注力しております。

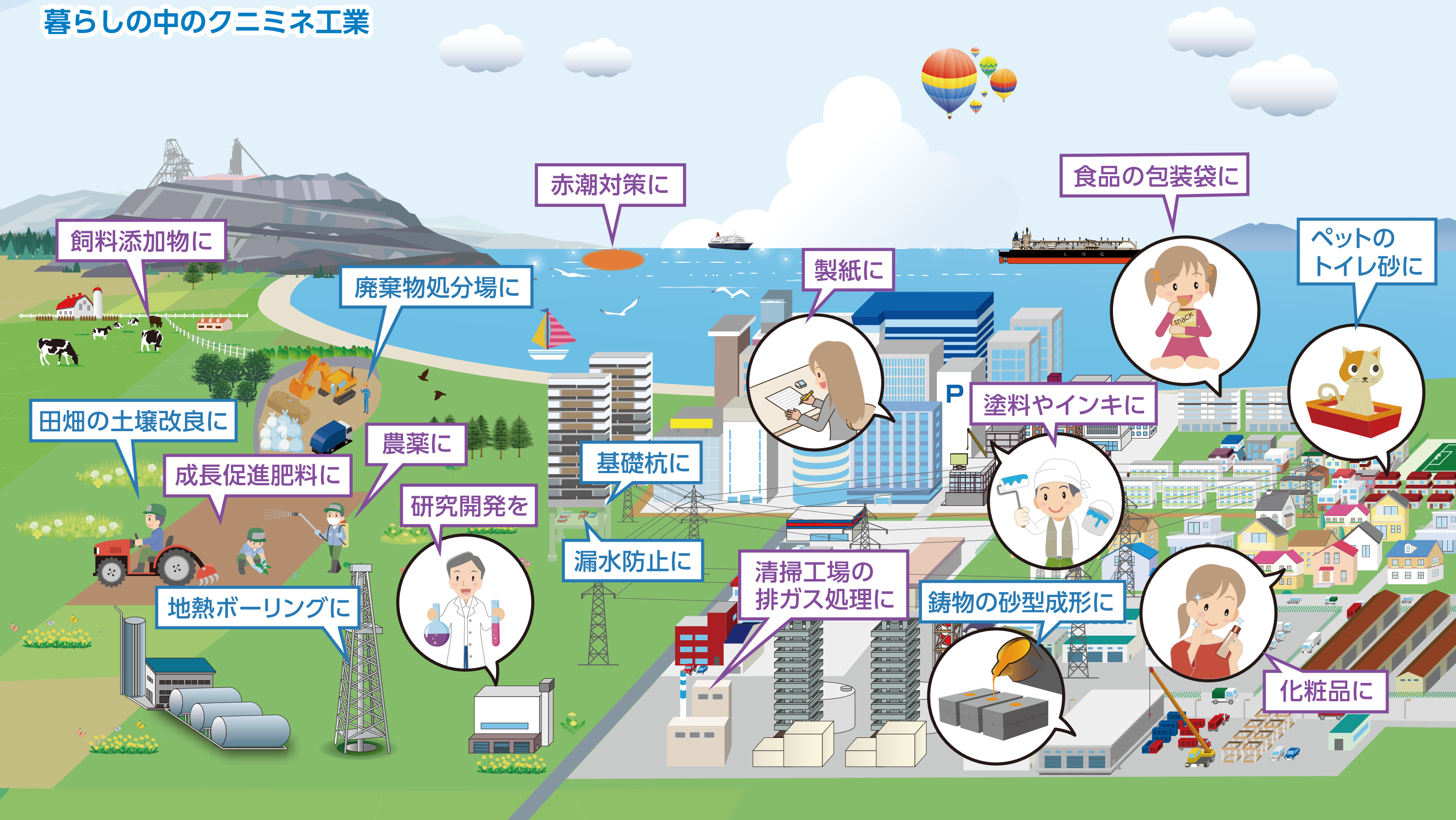
ベントナイトの価値を高め、より高付加価値の用途展開を加速させることにより、持続的に企業価値を向上させ社会的課題の解決および持続可能な社会の実現に貢献していくことを目指してまいります。

関係される方々におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

代表取締役社長 勢 塚 大 輔



## 暮らしの中のクニミネ工業





## ベントナイト事業部門 売上高 10,987百万円

## 素形材分野 売上高 6,409百万円

自動車や産業機械の部品となる鋳物を造るための鋳型は、ベントナイトを粘結材として砂を成型することで造られます。この鋳型は生産性に優れたものであり、多くの鋳物生産に用いられています。また、鋳物工場で排出される集塵ダストから重金属の溶出を防ぐ用途にもベントナイトが活用されています。素形材分野では、ベントナイト製品の販売のみではなく、黒磯研究所での鋳物砂分析などを通じて、歩留まりの改善などお客様の様々なニーズに応える当社グループ独自のトータルエンジニアリングサービスを提供しています。

今後も国内はもとより、成長が期待される海外市場においてもKUNIMINE (THAILAND) CO.,LTD.を通じて東南アジアへ進出する日系企業との連携を強め、海外ユーザーへの対応に注力してまいります。



当社研究所での注湯試験の様子



様々な種類のベントナイト

## 主力商品

- クニゲルVAS
- クニゲルGT
- クニゲルTY
- クニゲルU
- ネオクニボンド
- クニキャップTG
- 「クニボンドM」シリーズ
- 「クニボンドTY」シリーズ
- クニフォース

## 環境建設分野 売上高 3,642百万円

ベントナイトの持つ増粘性、遮水性を活かして、建物の基礎となる杭を形成するアースドリル工法や、一般廃棄物処分場での遮水工事等、広くベントナイトが使用されています。今後、脱炭素化への流れを受けて、地熱発電や海底資源掘削等のボーリング需要も期待されます。更には、低レベル放射性廃棄物処理用途など、環境負荷が少なくコストパフォーマンスに優れたベントナイトのニーズが高まっております。

引き続き、国土強靱化に向けた国内主要インフラ整備事業への継続的な取組みに加えて、廃棄物処分場連地熱発電事業への積極的な営業活動を展開してまいります。



場所打ち杭（アースドリル工法）の現場

## 主力商品

- クニゲルV1
- クニゲルGT
- クニゲルV2
- クニゲルU
- クニゲルGS
- クニキャップTG
- クニシール
- クニシート

## ペット分野 売上高 934百万円

ベントナイトの持つ高い吸水性と粘結性を活かしたペット用トイレ砂製品に参入して40年近く経ちました。近年はペットに対する飼い主様の意識も大きく変わり、もはやペットは生活を豊かにする家族の一員であるとの認識に変わってきております。そのような飼い主様の意識変化の中、当社グループはペット用トイレ砂中心の事業から、ペットとの生活やペットの健康など幅広い領域でペットと飼い主様のニーズを実現するため「家族皆が幸せでいられますように!」というコンセプトを新たに設定いたしました。そんな思いから、ペット、飼い主様共に喜んでいただける安心・安全な「天然ジビエペットフード」を発売いたしました。素材には駆除された害獣を使用し、それらの命を無駄にしないという社会的責任も、開発を始めたひとつの要因となっております。

これからも、ペットとその飼い主様が笑顔になれるような商品やサービスを提供し続けてまいります。



天然ジビエペットフード

## 主力商品

- ペレットタイプ
- 猫砂1 番超消臭
- 猫砂1 番大粒
- 破碎タイプ
- 猫砂1 番
- 猫砂1 番金印
- 細粒タイプ
- 猫砂1 番消臭+エコ
- 天然ジビエペットフード
- ジャーキー
- パウチフード

## クレイサイエンス事業部門 売上高 4,337百万円

## ファインケミカル分野 売上高 1,501百万円

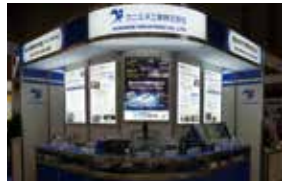
独自の製法により天然ベントナイトを精製した「クニピア」、合成技術によってつくり出された粘土「合成スメクトン」、更に合成スメクトンの親水性質を親油性へと改質した「有機化スメクトン」など高機能製品を販売しております。また、ゴミ焼却場の排ガス処理工程において使用される「環境保全処理剤」も当部にて取り扱っております。

ファインケミカル分野における「クニピア」や「スメクトン」は、高純度と特徴づけられる素材の強みを活かし、セラミックス、塗料、樹脂といった工業製品に機能性材料として利用されています。更に近年は、イオン交換技術をはじめとする、粘土の機能特性を更に引き出すための技術開発に積極的に取り組んでおり、更なる用途拡大を目指しております。

注力しているガスバリア機能分野においては、2022年12月にJAXA/産総研との「水素遮断コーティング材料」に関する共同研究成果を発表、社会実装に向けて各業界への提案を進めてまいります。

## 主力商品

- 「クニピア」シリーズ
- 「モイストナイト」シリーズ
- 「スメクトン」シリーズ
- 環境保全処理剤

新製品「アクニス」  
合成粘土水分散体を用いた意匠用材料

nano tech 2023に出展

## アグリビジネス分野 売上高 2,774百万円

製剤技術に強みを持つ当社グループでは、農業加工において薬効成分が放出される速度や量をコントロールする技術などを活かし、国内・海外の農業メーカーなどから農業の加工を受注しています。また、農作物や樹木の成長促進剤など、農業分野における多様なニーズにお応えしています。

農業業界では消費者ニーズの多様化や商品サイクルの短期化に伴い、多品種少量化の流れが加速するとともに、殺虫・殺菌剤と除草剤のクロスコンタミネーションを防止する管理体制や薬害への対策強化が一層厳しく求められています。

当社グループでは、多品種少量生産とクロスコンタミネーション防止に対応できる体制を構築するとともに、独自の造粒技術に磨きをかけながら、受注を拡大してまいりました。

今後もITなどを活用した省人・省力化への設備投資とともに生産管理体制を強化しながら、顧客満足度の向上を目指してまいります。

※クロスコンタミネーション（交叉汚染）：製造過程で農業製品同士が混じり合うこと

## 主力商品・サービス

- 農業受託加工
- 成長促進肥料
- KUNIMINE ペプチオン
- 農業キャリアー（基剤）
- クレ-細粒剤
- クニゲルV1
- 天竜
- フロアブル製剤用原料
- 「クニピア」シリーズ
- 「スメクトン」シリーズ



自動包装設備



X線検査装置

## ライフサイエンス分野 売上高 62百万円

当部は本年4月の組織変更により、「飼料添加物」や「食品添加物」に加え、「化粧品」用途も加わることとなりました。

「飼料添加物」用途においては、当社ベントナイトがカビ毒吸着能に加え、たんぱく質毒素も吸着する効能を活かし、畜産業界における治療から予防医療へのニーズシフトへ対応するとともに、今後は「動物医薬」用途なども開拓してまいります。

また、当社ベントナイトはクレイの一種として、増粘効果だけでなく吸着剤、乳化安定剤、保湿剤などの成分として多くの化粧品に採用されています。現在、天然由来の化粧品原料が注目を浴びており、精製ベントナイトのクニピアシリーズはCOSMOS APPROVEDを取得いたしました。最近では当社独自の精製技術を用いて、ベントナイトからモンモリロナイトを99%以上抽出した高純度クニピア「クニピア-RF」を上市いたしました。

自然の恵みであるクレイと私たちのテクノロジーを融合し、安心してお使いいただける製品を世界中へお届けしていきます。

## 主力商品

- 「クニピア」シリーズ
- 「スメクトン」シリーズ
- 「モイストナイト」シリーズ
- 高純度クニピア「クニピア-RF」を上市
- 飼料添加物：畜産動物の病気予防など
- 食品添加物：ワイン等の澱下げ剤など
- 赤潮対策の水質浄化剤「クニボンドRT」

CITE JAPAN 2023に出展  
「技術部門 銀賞」受賞

飼料添加物



## Q 2023年3月期の業績について お聞かせください。

**A** 2023年3月期の国内経済は、ウクライナ情勢の長期化による資源・エネルギー価格の高騰や、米国の金利引き上げ等による為替変動など、不確実性の高い一年でございました。

当社グループにおきましては、半導体不足による自動車メーカー各社の生産停止等を起因とした販売数量の減少、福島復興案件の終息、大型公共工事の着工延期、コスト面では円安による輸入原価価格の高騰や各種原材料価格の上昇などを受け、年間を通して厳しい環境でございました。こうした中、各セグメントで販売量の維持に努めるとともに、コストの上昇分については価格改定に取り組むことで、全体としての売上高は前期比で微増となりました。利益については、上期におけるコスト上昇分の価格改定が追い付かず大幅な減益となりました。

具体的な数値といたしましては、売上高は153億25百万円（前期比0.4%増）、営業利益は8億28百万円（同50.3%減）、経

常利益は13億73百万円（同28.2%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は8億42百万円（同35.3%減）でございました。今期は、販売量の回復と、これまで進めてきた価格改定効果により、増収増益を見込んでおります。今後も機動的な価格改定に取り組むとともに、高付加価値製品の拡販、コスト低減を全社一丸となって進め、更なる収益力向上に努めてまいります。

## Q 2023年4月の組織変更について、その背景と今後の方針についてお聞かせください。

**A** 近年、当社グループを取り巻く経営環境、社会構造は大きく変化しております。そういった中でも、お客様ニーズの変化に柔軟に対応し、新しい価値を創出し続ける事が企業価値と競争力を高めることにつながると考えております。そこで、当社グループが持つリソースを再配置し、事業分野毎の連携強化と機動的な事業活動を推進できる組織体制を構築するとともに、開発から販売までのプロセス強化および新規事業展開を一層

推進することを目的として、組織変更を行いました。

変更内容は大きく3点です。まず、ベントナイト営業部と生産部を傘下に置いたベントナイト事業本部を創設いたしました。生産から販売までを一体の組織とすることで事業全体の連携を強化してまいります。次に、従来の化成品事業部・アグリ事業部・ライフサイエンス部を、新設したクレイサイエンス事業本部に集約いたしました。今後更なる成長が期待される事業の集約によりシナジー効果を高め、市場への展開を強化してまいります。最後に、新規事業の立ち上げを担う専門部署として、新規事業推進部を創設いたしました。当部を中心に研究開発投資を積極的に行い、絶えざるイノベーションの実現に挑戦してまいります。

## Q 最後に株主の皆様へメッセージをお願いします。

**A** はじめに、2023年3月期は当初の計画に対し大きく

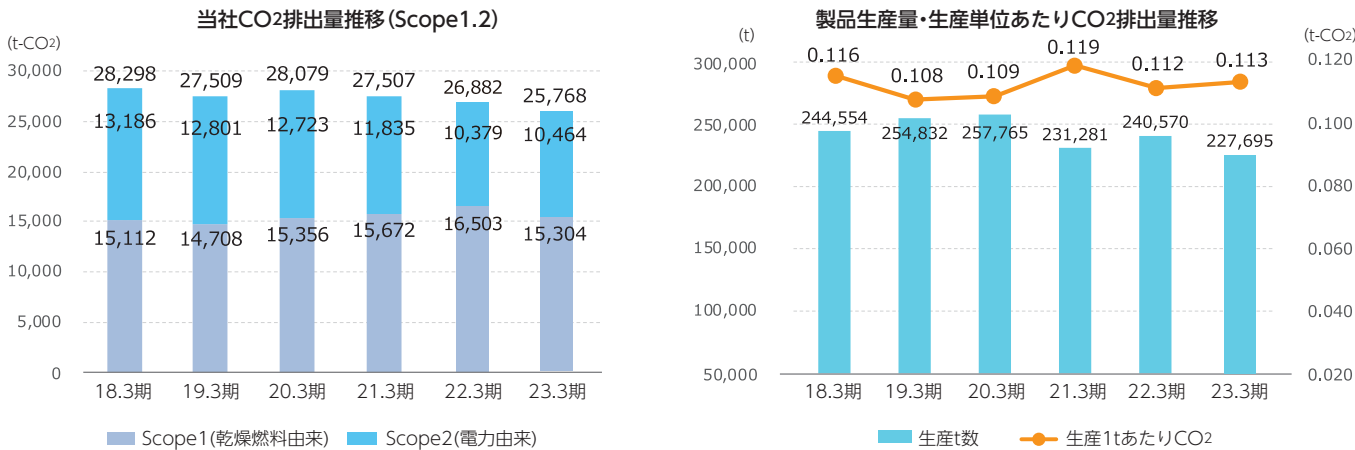
減益となり、株主・投資家の皆様方には大変なご心配とご迷惑をお掛けしたことをお詫び申し上げます。

当社は今期、創立80周年を迎えることができました。これもひとえに株主・投資家の方々をはじめ、取引先や地域社会の方々など、すべてのステークホルダーの皆様のご支援のおかげでございます。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。皆様のご期待にお応えできるよう、更なる企業価値向上を進めてまいります。今期は組織体制を見直し、新しく策定した中期経営計画の初年度となります。売上利益の達成はもちろん、より高付加価値な製品を主軸に据えた強靱な企業体質を構築するべく、研究開発、人材投資にも積極的に取り組んでまいります。更には、社員一人ひとりが、当社グループの事業活動を通じて社会に貢献していると実感できる会社を実現いたします。株主・投資家の皆様方には、当社グループへの変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますよう、宜しく願い申し上げます。



Topics1 CO2排出量の状況

当社グループCO2排出量の状況



- 23.3期の当社グループCO2排出量は、前年比▲1,114t-CO2の削減
- 生産数量の変動も要因ではあるが、20.3期よりCO2排出量削減を継続
- 今後もカーボンニュートラルの達成に向け、Scope2を中心とした削減を進めるとともに、高効率燃料への切替えを図ること  
で、生産単位当たりのCO2排出量削減を進めていく

\*Scope1：製造等での燃料使用によるCO2直接排出  
\*Scope2：購入した電気の使用によるCO2間接排出  
\*各数値は省エネ法に基づく定期報告値より作成

Topics2 カーボンニュートラルに向けた取組み

液化天然ガスへの燃料切替



東京ガス株式会社 常磐鹿島サテライト (当社契約先)

当社いわき工場の乾燥工程で使用している燃料を、灯油からCO2排出量の少ない液化天然ガス(以下LNG)へ切り替えました。  
LNGのCO2排出係数は灯油より約30%少なく、クリーンなエネルギーと評価されており、国内の火力発電や都市ガスとして広く利用されています。  
切替えによるCO2削減量は、年間で▲930t-CO2を見込んでおり、当工場の排出量の約20%、グループ全体の排出量では約3%のCO2削減となります。

再エネ比率30%プランへの切替

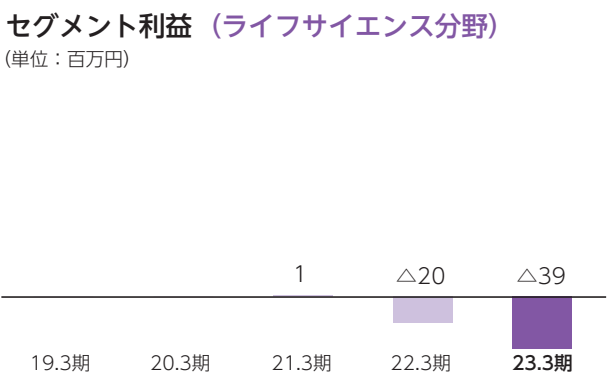
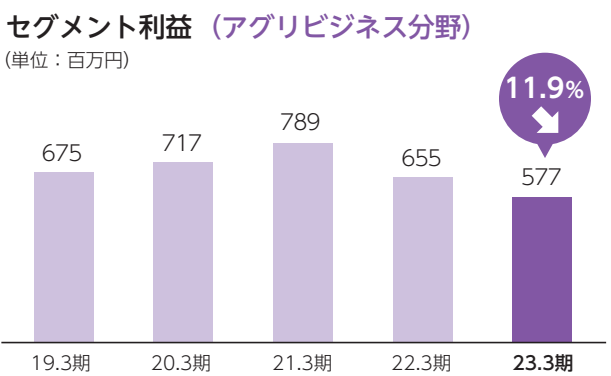
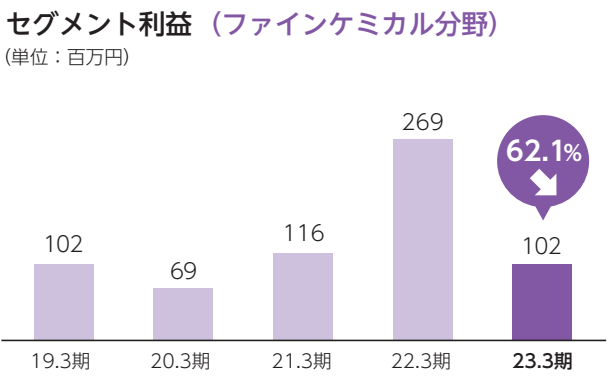
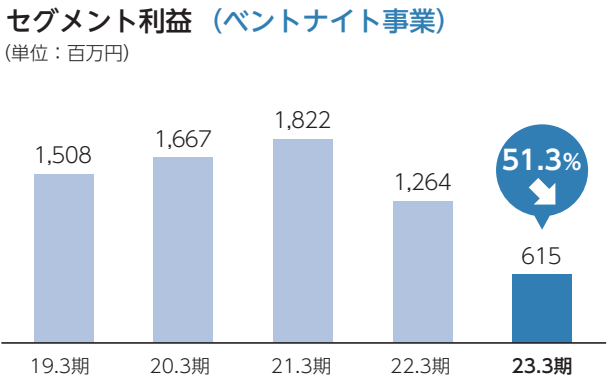
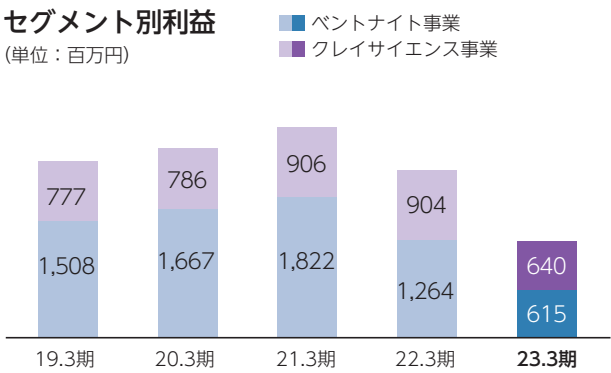
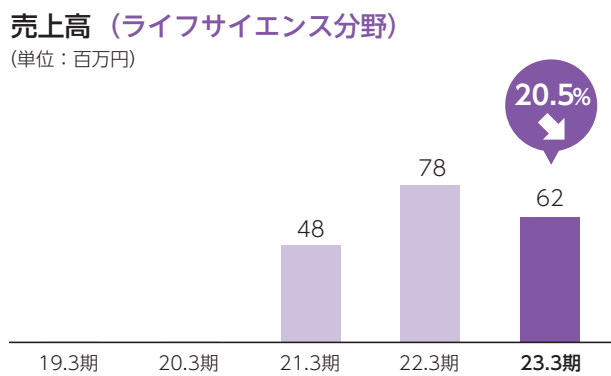
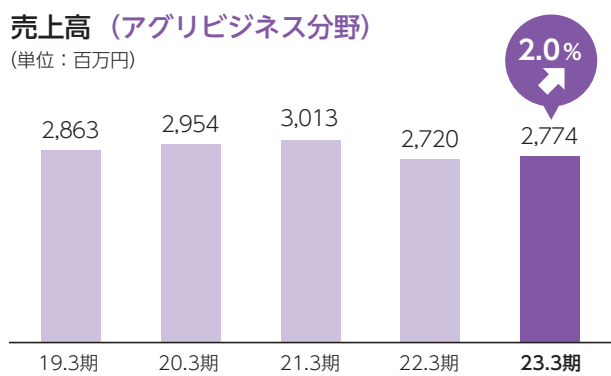
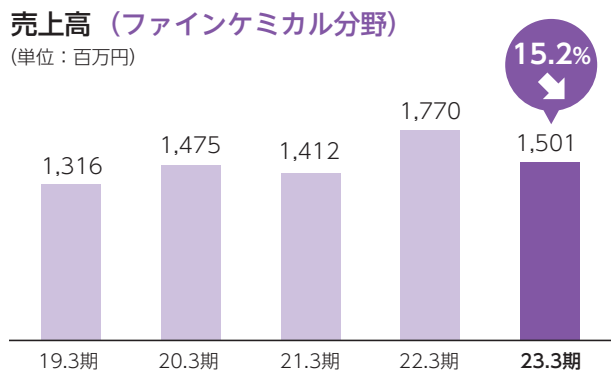
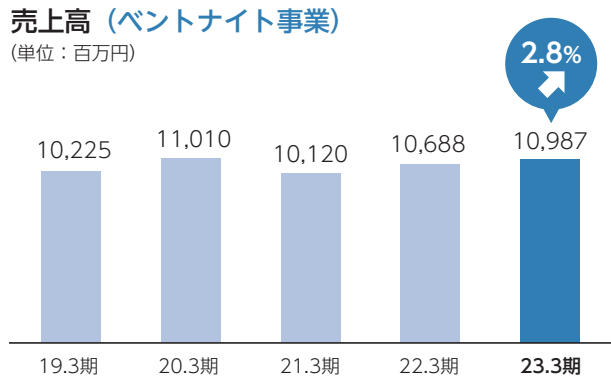
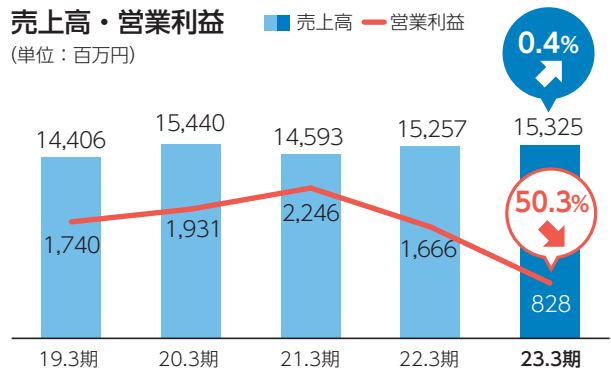


太田工場外観

2023年6月1日より、当社太田工場の電力供給会社との契約を再生可能エネルギー比率30%のプランへ変更いたしました。  
契約変更によるCO2削減量は、年間で▲30t-CO2の削減を見込んでおり、当工場のCO2排出量の約30%の削減となります。  
カーボンニュートラルの達成に向け、今後も全社一丸となって取り組んでまいります。

財務ハイライト (連結)

※ 2023年4月1日付で事業セグメントを見直しましたが、以下の情報は新たな事業セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。  
※ 2023年3月期 有価証券報告書上では、ライフサイエンスはベントナイトに含まれております。





- 1

本社

〒101-0032  
東京都千代田区岩本町一丁目10番5号  
(T.M.M.ビル3F)  
電話 03-3866-7251 (代表)
- 2

名古屋支店

〒450-0002  
愛知県名古屋市中村区名駅四丁目3番10号  
(東海ビル5F)  
電話 052-587-5232
- 3

大阪支店

〒532-0003  
大阪府大阪市淀川区宮原四丁目4番64号  
(新大阪千代田ビル2F)  
電話 06-6392-4581
- 4



黒磯研究所

〒325-0013  
栃木県那須塩原市鍋掛1085番地454  
電話 0287-64-1981
- 5



いわき工場・研究所

〒972-8312  
福島県いわき市常磐下船尾町杭出作23番5号  
(常磐鹿島工業団地内)  
電話 0246-44-7100
- 6



左沢工場

あてらざわ  
〒990-1101  
山形県西村山郡大江町  
大字左沢782番地  
電話 0237-62-2255

- 7



蔵王工場

〒989-0916  
宮城県刈田郡蔵王町  
遠刈田温泉字下田6番地  
電話 0224-34-2011
- 8



御津工場

みと  
〒441-0314  
愛知県豊川市御津町  
御幸浜一ノ地1番17  
(御幸浜企業団地内)  
電話 0533-76-3107

- 9



太田工場

〒313-0008  
茨城県常陸太田市増井町  
字上台166番地  
電話 0294-72-2251
- 10



小名浜工場

〒971-8184  
福島県いわき市泉町  
黒須野字江越246番7号  
(小名浜臨海工業団地内)  
電話 0246-56-5890

- 11



郡山工場

〒963-0531  
福島県郡山市日和田町  
高倉字榎田2番地1  
(郡山北部工業団地内)  
電話 024-983-9201

グループ会社

- 12



クニマイン株式会社 (株式100%保有)

ベントナイト原鉱石の採掘、販売  
〒990-1271 山形県西村山郡大江町大字月布722番地9号  
電話 0237-64-2121
- 13



川崎鉱業株式会社 (株式100%保有)

ベントナイト原鉱石の採掘、販売  
〒989-1502 宮城県柴田郡川崎町大字今宿字上ノ台6番地1号  
電話 0224-84-4661
- 14



関ベン鉱業株式会社 (株式100%保有)

ベントナイトの採掘、製造および販売  
〒959-4622 新潟県東蒲原郡阿賀町白崎1573番地  
電話 0254-99-2028
- 15

クニミネマーケティング株式会社 (株式100%保有)

ペット用品の販売など  
〒279-0001 千葉県浦安市当代島一丁目1番25号 (板徳ビル3F) 電話 047-711-1761

**KUNIMINE (THAILAND) CO.,LTD. (株式49%保有)**  
ベントナイト製品の販売、ベントナイト用途周辺関連商材の販売など  
2 Jasmine City Building, 12th floor, Soi Sukhumvit23 (Prasarnmitr),  
Klongtoey-Nua,Wattana, Bangkok 10110, Thailand  
電話 +66-2-612-7302

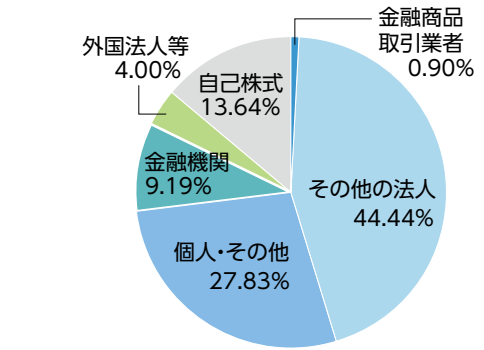
**TRANS WORLD PROSPECT CORPORATION (株式71.43%保有)**  
米国ベントナイト採掘会社への出資  
2000 West Loop South, Suite 1100,Houston, TX 77027,USA

株式の状況 (2023年3月31日現在)

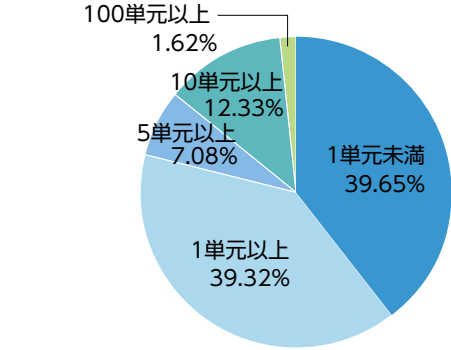
|                         |                                                  |         |         |
|-------------------------|--------------------------------------------------|---------|---------|
| 発行可能株式総数<br>40,000,000株 | 大株主（上位10名）                                       |         |         |
|                         | 株主名                                              | 持株数（千株） | 持株比率（%） |
|                         | クニミネエンタープライズ株式会社                                 | 4,909   | 39.34   |
| 発行済株式の総数<br>14,450,000株 | クニミネ工業取引先持株会                                     | 749     | 6.01    |
|                         | 日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）                          | 532     | 4.27    |
|                         | 株式会社日本カストディ銀行（信託口）                               | 478     | 3.83    |
| 株主数<br>5,427名           | 日本化薬株式会社                                         | 438     | 3.51    |
|                         | クミアイ化学工業株式会社                                     | 329     | 2.64    |
|                         | 川上 悟                                             | 289     | 2.32    |
|                         | 日昭株式会社                                           | 198     | 1.59    |
|                         | BNYM RE BNYMLB RE GPP CLIENT MONEY AND ASSETS AC | 167     | 1.34    |
|                         | 株式会社三菱UFJ銀行                                      | 160     | 1.28    |

(注) 持株比率は自己名義株式（1,971,395株）を控除して計算しております。

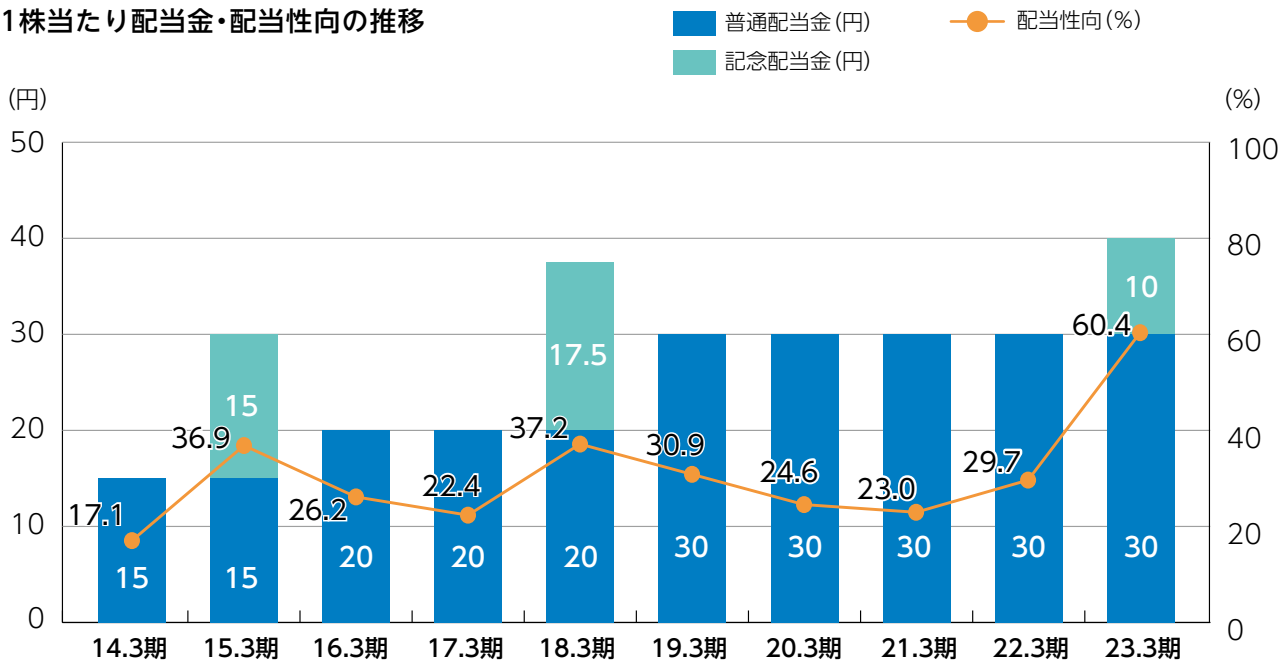
所有者別  
株式数分布状況



所有数別  
株主数分布状況



1株当たり配当金・配当性向の推移



会社概要／株主メモ (2023年3月31日現在)

|       |                                                      |                                                          |
|-------|------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|
| 商 号   | クニミネ工業株式会社                                           | 会社の主な事業目的                                                |
| 代 表 者 | 代表取締役社長<br>勢 藤 大 輔                                   | ● 鉱業                                                     |
| 本 社   | 〒101-0032<br>東京都千代田区岩本町一丁目10番5号<br>03-3866-7251 (代表) | ● 岩石および粘土類の採取、加工ならびに販売                                   |
| 設 立   | 1943年(昭和18年)6月1日                                     | ● 無機・有機の工業薬品、農薬、医薬品、医薬部外品、動物用医薬品の製造・加工ならびに販売             |
| 資 本 金 | 16億1,780万円                                           | ● 食品・食品添加物、飼料・飼料添加物の製造・加工ならびに販売                          |
| 従業員数  | 240名                                                 | ● 水処理剤・廃汚泥水処理剤および処理装置の製造・販売ならびに施工および運営                   |
|       |                                                      | ● 粉粒体・鑄造・土木用機器装置等に関連するプラントの設計・施工および運営ならびにその機器類および資材の製造販売 |

役員一覧 (2023年6月28日現在)

|                                              |               |
|----------------------------------------------|---------------|
| 取 締 役 会 長（全般）                                | 國 峯 保 彦       |
| 代表取締役社長（全般）                                  | 勢 藤 大 輔       |
| 専 務 取 締 役（ベントナイト事業本部長、ベントナイト営業部長）            | 木 村 敏 男       |
| 常 務 取 締 役（クレイサイエンス事業本部長、ファインケミカル部長）          | 玉 木 悟 史       |
| 取 締 役（クレイサイエンス事業本部副本部長、ライフサイエンス部長、海外事業推進部管掌） | 友 山 貴 之       |
| 取 締 役                                        | 鷲 巢 信 太 郎（社外） |
| 取 締 役（常勤監査等委員）                               | 白 石 伸 次       |
| 取 締 役（監査等委員）                                 | 堀 越 孝（社外）     |
| 取 締 役（監査等委員）                                 | 赤 石 健（社外）     |
| 取 締 役（監査等委員）                                 | 原 田 崇 史（社外）   |

株主メモ

|              |                                                                                                                                                                   |
|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業年度         | 4月1日～翌年3月31日                                                                                                                                                      |
| 期末配当金受領株主確定日 | 3月31日（中間配当を行う場合は9月30日）                                                                                                                                            |
| 定時株主総会       | 毎年6月                                                                                                                                                              |
| 株主名簿管理人      | 三菱UFJ信託銀行株式会社                                                                                                                                                     |
| 特別口座の口座管理機関  | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部<br>東京都府中市日鋼町1－1<br>電話 0120-232-711（通話料無料）<br>郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部                                                  |
| 同連絡先         | 東京証券取引所 スタンダード市場                                                                                                                                                  |
| 上場証券取引所      | 電子公告により行う<br>公告掲載URL <a href="https://www.kunimine.co.jp/">https://www.kunimine.co.jp/</a><br>(ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。) |

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求、配当金の振込指定その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社などにお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にでもお取り次ぎいたします。

3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



